

工業会渋川支部

群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター見学会報告

令和5年12月2日（土）渋川支部主催にて参加者19名で群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター見学会を実施いたしました。渋川支部においては、しばらく休眠をしていましたが昨年度再度立ち上げを行い、今年度より本格活動を実施してまいりました。この見学会は総会后支部主催の初めての事業となりました。

田野崎支部長のあいさつに続き、小木津准教授により研究スタートから現在までの歩みの紹介、次に現在の取り組み状況、そして未来への道筋の講話をいただきました。自動運転技術は2005年頃にはすでに実車実験が行われていたとのことでスタートはかなり早かったことを知りました。時代とともに技術が進歩していった状況や、これからの道筋を分かりやすく説明いただきました。自動運転分野では群馬大学の取り組みが全国から注目されているとお聞きして誇らしく感じました。この研究が大きく社会に貢献することが期待できると感じるとともに、渋川支部の北毛地区は過疎地が多くあり、この技術が早く導入され利便性が向上すればよいと感じた次第です。

今回の見学会には会員だけではなく会員のご家族やお孫さんも参加され興味深い一日を過ごされたようです。これからも群馬大学というバックグラウンドを活用し会員や会員のご家族を含め視野を広げていただき、より良いライフワークを実現できるお手伝いをする活動を行っていききたいと思います。

今回お世話になりました小木津准教授や荒牧事務センターの皆様へ心から感謝申し上げ見学会のご報告とさせていただきます。

(52K 田野崎)



